

評価基準（1次審査）

評価項目			評価基準	配点	評価点		
					①	②	③
参加表明者の経験及び能力	専門技術力	業務実績	<p>過去5年間に新規GIS構築または投稿型ASP構築業務の受注実績を次の順位で評価する。</p> <p>① 10件以上 ② 5～9件 ③ 0～4件</p> <p>※同一地方公共団体の複数年にわたる業務は1件としてカウントする。 ※昨年度から継続して業務を履行しているものは実績として含む。 <b>※島根県内での業務も実績として含む。</b></p>	5	5	3	1
	情報収集力	地域精通度	<p>過去5年間に島根県内でのGIS構築または投稿型ASP構築業務の受注実績を次の順位で評価する。</p> <p>① 実績数順位1位 ② 実績数順位2位 ③ 実績数順位3位</p> <p>※同一地方公共団体の複数年にわたる業務は1件としてカウントする。 ※昨年度から継続して業務を履行しているものは実績として含む。 <b>※島根県内での実績を、地域精通度として加点する。</b></p>	5	5	3	0
	情報収集力	地域精通度	<p>過去10年間に、益田市発注の業務を元請として受注実績を次の順位で評価する。</p> <p>①受注実績あり ②受注実績なし</p>	5	5	0	
	管理技術力	業務体制	<p>プロポーザル実施要領の3 参加資格(1)に該当する営業所に常駐する技術者の人数を次の順位で評価する。</p> <p>①10人以上 ②5人以上10人未満 ③5人未満</p> <p>※参加表明書に添付する、島根県内営業所での技術者常駐在籍証明書を確認をする。</p>	5	5	3	1

配置予定管理技術者の経験及び能力	資格要件	技術者資格	管理技術者の資格を次の順位で評価する。 ① 技術士（情報工学部門） ② R C C M（建設情報部門）	5	5	3	
	専門技術力	業務実績	過去5年間に管理技術者としてGIS構築または投稿型ASP構築業務の実績を次の順位で評価する。 ① 5件以上 ② 2～4件 ③ 0～1件 ※同一地方公共団体の複数年にわたる業務は1件としてカウントする。 ※今年度及び昨年度から継続して業務を履行しているものは実績として含む。	5	5	3	1
配置予定照査技術者の経験及び能力	資格要件	技術者資格	照査技術者の資格を次の順位で評価する。 ① 技術士（情報工学部門） ② R C C M（建設情報部門）	5	5	3	
	専門技術力	業務実績	過去5年間に管理技術者、もしくは担当技術者としてGIS構築または投稿型ASP構築業務の実績を次の順位で評価する。 ① 2件以上 ② 1件 ③ 0件 ※同一地方公共団体の複数年にわたる業務は1件としてカウントする。 ※今年度及び昨年度から継続して業務を履行しているものは実績として含む。 ※業務実績には、照査技術者として従事した業務は除く。	5	5	3	0
				40			

業務機能確認表評価

評価項目		評価基準	配点	評価点		
				①	②	③
業務要件	表示・検索・計測・印刷・編集等	業務要件の機能を有している順位にて、以下の3段階で評価する。 ①：1位 ②：2位 ③：3位 ④：4位以下は0点とする。	25	25	10	5
			25			

機能要件確認表評価

評価項目		評価基準	配点	評価点		
				①	②	③
維持管理	要望受付 パトロール 作業日誌	機能要件の機能を有している順位にて、以下の3段階で評価する。 ①：1位 ②：2位 ③：3位 ④：4位以下は0点とする。	15	15	10	5
占用管理	占用許可 施工承認 交通規制 等	機能要件の機能を有している順位にて、以下の3段階で評価する。 ①：1位 ②：2位 ③：3位 ④：4位以下は0点とする。	15	15	10	5
市民投稿	市民投稿システム	機能要件の機能を有している順位にて、以下の3段階で評価する。 ①：1位 ②：2位 ③：3位 ④：4位以下は0点とする。	15	15	10	5
			45			

【一次審査合計】評価基準（40点）＋業務機能評価（25点）  
＋機能要件評価（45点）＝110点

審査基準（2次審査）

企画提案書評価

評価項目		評価基準	配点	評価点		
				①	②	③
企画提案	業務に対する基本姿勢	要求仕様および機能要件を把握しており、本業務の構築方針、条件、内容の理解度が高いか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	実施フロー	本業務を理解したうえで、システム構築にあたり、適切なスケジュールが作成され確実な業務の履行が見込まれるか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	業務体制	システム構築にあたり、人員配置や体制など十分な配慮がなされているか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	構築方式	庁内版システムと公開版システムの連携が円滑となる方式を選定しているか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	10	10	5	1
	プラットフォームの機能性	業務パッケージに使用されるプラットフォームの機能性について、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	規模要件	要求仕様書の規模要件を満たす提案となっているか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	拡張性要件	今後の他システムとの拡張性について提案がなされているか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	情報セキュリティ要件	情報セキュリティにおいて有効な提案がなされているか、以下の3段階で評価する。	5	5	3	1

		①：優 ②：良 ③：可				
	保守・運用要件	保守・運用において有効な提案がなされているか、以下の3段階で評価する。 ①：優 ②：良 ③：可	10	10	5	1
	その他 追加提案	要求要件以外に本システムにおいて有効な提案がなされているか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	10	10	5	0
プレゼンテーション	資料作成能力	提案資料は分かりやすく、説得力があるか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	2	2	1	0
	説明能力	説明が分かりやすく説得力があり、質疑に対する的確な回答ができるか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	3	3	2	1
			70			

**【二次審査】 70点**

**【合計】 一次審査（110点）＋二次審査（70点）＝180点**